

令和3年度 第1回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議)の書面開催に係る記録

本年度第1回目の開催については令和3年6月2日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、参集しての開催を避け、書面による開催とすることとし、令和3年5月28日から同年6月2日までの間、会員に議事を回覧するとともに、書面表決を求めることにより実施。

1 送付日

令和3年5月28日(金)

2 参加者

- (1) 児童福祉専門分科会委員(15名) ※五十音順
伊藤順朗委員、大沼明美委員、小川美代子委員、草野祐香利委員、
強口暢子委員(委員長)、坂詰健一委員、志賀達生委員、志賀侑哉委員、
菅波香織委員、杉村理一郎委員、鈴木潤委員、鈴木隆次郎委員、富樫那都子委員、
橋本華菜委員、宮内隆光委員

3 議事

- (1) 協議事項
ア 家庭的保育事業等の認可について(資料1)
- (2) 報告事項
ア 内郷児童館に係る取組方針について(資料2)
イ 令和3年度における新型コロナウイルス感染症対策の主な取組について
(資料3)

4 協議事項に対する結果及び報告事項に関する意見等

- (1) 協議事項
ア 家庭的保育事業等の認可について(資料1)
原案に対し書面表決書により、委員15名中14名の同意を確認した。
※1名については利害関係者のため辞退
委員からの意見等なし。(確認日:6月2日)
- (2) 報告事項
ア 内郷児童館に係る取組方針について(資料2)
主な意見については次のとおり。
なお、いただいた意見については今後の児童福祉施策の参考とさせていただきます。

【A委員】

児童館機能を近隣の放課後児童クラブに移転する方針であると理解したが、いずれのクラブも利用者が年々増え、手狭となっているのが実情と認識している。

施設の耐震性なしとの判定から方針については同意できるが、放課後児童クラブの利用状況についても併せて把握し、必要であれば児童クラブの改善も望まれると考える。

【B委員】

- ・ 内郷児童館の利用状況から考えると、児童館機能は近隣の放課後児童クラブや高坂・御厩保育所を統合した基幹的保育所に代替・移転委譲は可能なのかもしれないが、本市（内郷地区）に必要な児童館の在り方について、妊娠期から子ども期（18歳）まで切れ目なく包摂的に支援する見地からの検討もしてほしい。
- ・ 基幹的保育所を整備される近くには、市内唯一の小児科と産科のある総合病院で周産期センターや分娩集約の中核を担う医療センターがあり、総合保健福祉センター、公民館（図書館）もあるので、内郷エリアを防災も含めた子ども・子育ての総合的なエリアにできると良い。
- ・ 妊娠期から思春期までを中心に支援する、地域で子どもを育む・地域における身近な相談・支援・教育の場があることで、子どもの健康と福祉の向上が図れると思うので、妊産婦（産前産後）ケアもできる複合型・多機能型拠点整備についても検討いただけると良い。
- ・ 児童館の跡地は、子ども達が地域住民やボランティアの方たちと、屋外レクリエーションや労作作業などの体験・経験を通して交流がもてるような、冒険遊び場（プレイパーク）や畑、花壇などで活用できると良い。

【C委員】

子どもが気軽に立ち寄れる施設が減っていくのはとても残念。いわきの子育て環境は、他の市町村と比べて、子ども達が遊べる場が充実していないと感じる。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、更に保護者の孤立に繋がっている。

放課後児童クラブに入っていない子も安心して遊べ過ごせる安全な場所を充実していけるよう、民間でも頑張りたいと思うので、市とも意見交換等していきたい。

【D委員】

コミュニティーのひとつの建物がなくなるのは(他に機能を移譲したとしても)少しさびしい気がする。

イ 令和3年度における新型コロナウイルス感染症対策の主な取組について
(資料3)

主な意見については次のとおり。

なお、いただいた意見を参考にしながら、引き続き感染症対策に万全を期して参りたいと考えております。

【A委員】

放課後児童クラブは利用者数が多いためソーシャルディスタンスの確保が困難となっている印象が否めない。このような状況は他児童クラブ等でも同様であると推察される。さらに環境整備の推進が必要と考えられ、このような実情の声が反映されることを期待している。

【B委員】

子どもや妊産婦を対象とする施設において、感染対策は恒常的なことだが、感染症の種別によっては特別な対策も必要であり、現状コロナ禍にあつては、基本的な感染対策を厳重に行うとともに、不安等の精神的な負担や、非接触状態を図ることで生じている社会経済的な影響にも、ICTを活用した相談支援や給付等の新たな対応をされていることが分かった。恒常的な感染対策については、次年度も継続して予算を確保していただけると良い。

【C委員】

公共施設が閉じてしまったことにより、育児に対する孤立感を感じるとの相談を受けることがあった。セーフティーネットとして感染症対策を取りながらも対面でできる取組を工夫していけたらと感じる。

【E委員】

放課後児童クラブ等環境改善整備推進事業等により、各クラブにおいて、オンラインで資質の向上を図る環境が整ってきたことから、研修はもちろんのことそれ以外の場合においても、感染防止のためオンライン活用の推進をお願いしたい。